

このガイドでは、お買い上げ後、すぐにお使いいただくための確認事項やスタンドの取り付け、アンテナなど配線の接続を主体に説明しています。くわしい説明については、取扱説明書のそれぞれの説明ページをご覧ください。なお、本機を正しく安全にお使いいただくため、お使いになる前に必ず取扱説明書の「はじめに」をお読みください。

サポート動画
のご案内



funai.jp/cs/supportmovie/#1070



● 当社製品情報サイトの「サポート動画」ページで、サポート動画をご覧いただけます。サポート動画では接続方法や使いかたをわかりやすく説明しています。

付属品を確認する

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコン(FRM-104TV) 1台 | <input type="checkbox"/> スタンド取付ネジ(4×18 mm) 2本 | <input type="checkbox"/> miniB-CASカード挿入口のふた 1個 |
| <input type="checkbox"/> 動作確認用単4形乾電池(RO3) 2本 | <input type="checkbox"/> miniB-CASカード 1枚 | <input type="checkbox"/> ふた専用ネジ(3×10 mm) 1本 |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書 1冊 | <input type="checkbox"/> B-CASカードのご利用方法 1部 | |
| <input type="checkbox"/> はじめるガイド 1枚 | | |
| <input type="checkbox"/> 保証書 1枚 | | |
| <input type="checkbox"/> スタンド 2本(1組) | | |

ご準備 スタンドの取り付けに市販品のプラスドライバー(JIS2番/直径6 mm)をご用意ください。

リモコンを準備する

- ▽の凹みを下に押しながらかすみをスライドして、裏ふたをはずす
- +/−をよく確かめて−側から正しく入れる
- 裏ふたをつける



ご注意

- ・落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・直射日光の当たるところや高温になる場所、湿度の高い場所に置かないでください。
- ・水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- ・ベンジン、シンナーなど揮発性の高い液体で拭かないでください。
- ・付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換することをおすすめします。



注意
スタンドを取り付ける前に必ずお読みください



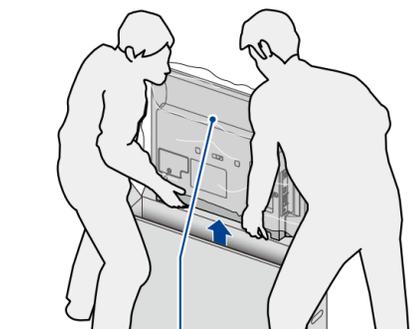
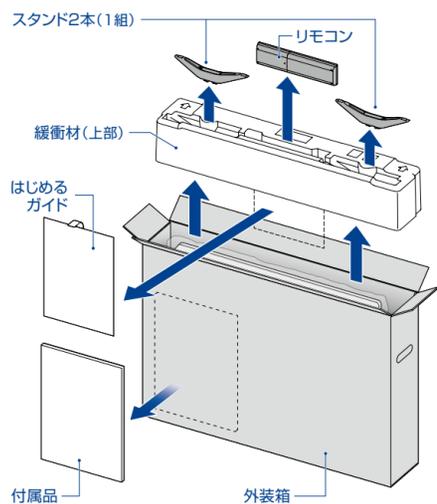
パネルを強く握らない



本体を水平の状態にして長時間運ばない

開梱方法

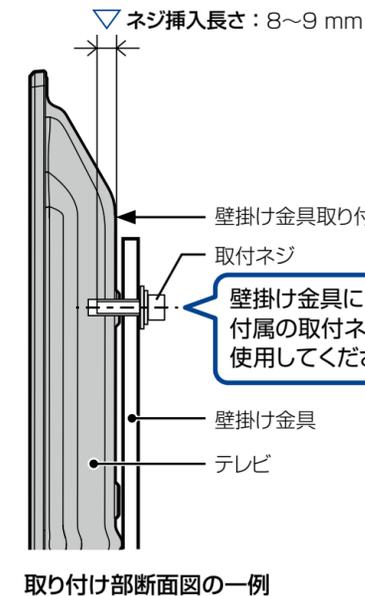
- ① 外装箱の天面を開けて、緩衝材内部にある付属品と緩衝材上部に貼付されているはじめるガイド(本紙)を取り出す
- ② 本体を両側からしっかりとフレームを持って引き上げる



- パネルを触らない
- 背面上部を持つときは、背面カバーまたは外周枠を持つ

「スタンドの取り付け/設置方法」に進む

壁掛け設置方法



ご注意 壁掛け金具(市販品)取り付け時の注意

- ・壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。
- ・壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- ・壁掛け工事が不完全な場合は、ケガの原因となります。
- ・壁掛け金具(市販品)を取り付ける際は、壁掛け金具に付属の取付ネジを使用してください。
- ・壁掛け金具に付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- ・壁掛け金具取り付け面からのネジ挿入長さは左図のように設定しています。
- ・必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ・ケーブルの端子形状/サイズによっては壁面と干渉し、使用できません。設置前に必ずご確認ください。

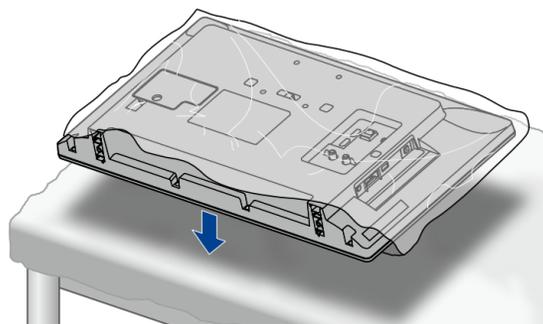
お知らせ 本機で推奨される壁掛け金具については、当社製品情報サイトの「壁掛け金具」ページ(funai.jp/cs/wall-mount/)でご確認ください。

スタンドの取り付け/設置方法

本体にスタンドを取り付けないと製品が転倒し、ケガの原因になったり、テレビ台や床などが傷ついたりすることがあります。

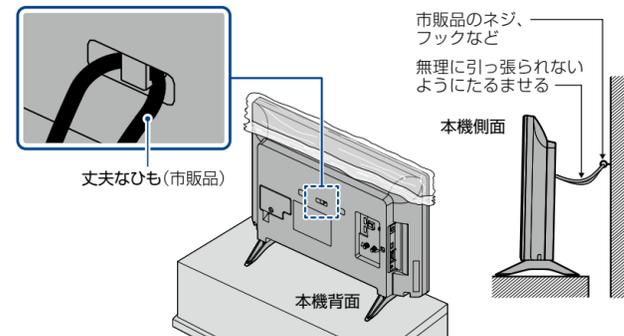
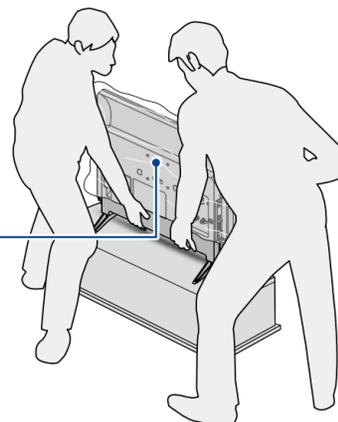
- ① パネル面を下にして、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置く
- ② スタンド取付ネジ(4×18 mm)で両方のスタンドを取り付ける
- ③ 本体を持ち上げ、テレビ台などに設置する
- ④ 保護袋をはずして、壁や柱などの安定した場所へ固定する

- ・パネルを傷つけないように十分ご注意ください。
- ・テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
- ・テーブルは必ず本機の重さに耐えることができ、本体より大きいものを使用してください。



ご注意 ネジはまっすぐ締めてください。
・ネジ山が破損する恐れがあります。

- パネルを触らない
- 背面上部を持つときは、背面カバーまたは外周枠を持つ



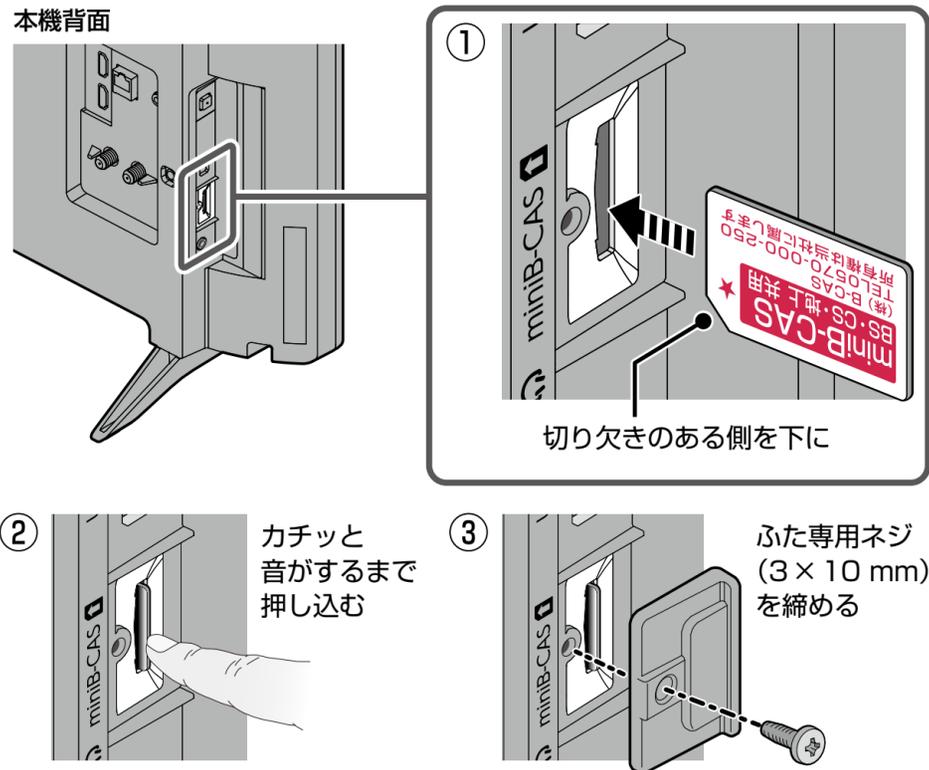
ご注意 ・ネジ、ひもなどの取り付けは確実にこなしてください。
・本体を再び移動させるときは、ネジやひもをはずしてから移動させてください。

1 miniB-CASカードを入れる

デジタル放送を受信するためには、miniB-CASカード(付属品)が必要です。

- 赤色面を手前に、切り欠きのある側を下にして、miniB-CASカード挿入口に「カチッ」と音がするまで、奥へしっかりと挿し込み、miniB-CASカード挿入口のふたをして、市販品のプラスドライバー(JIS2番/直径6mm)で、ふた専用ネジ(3×10mm)を締めてください。

本機背面



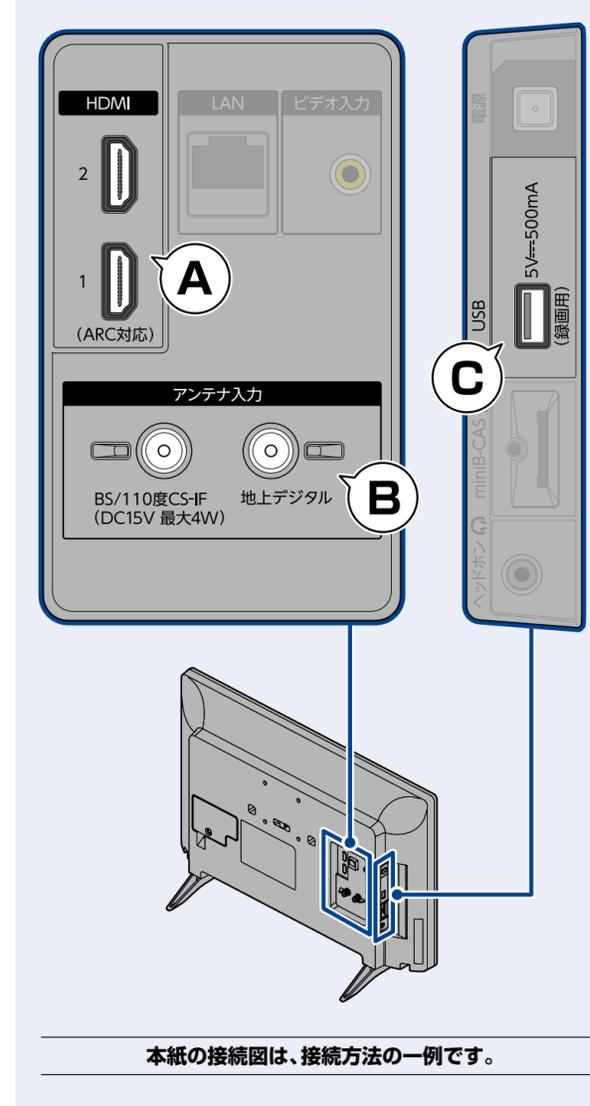
付属のminiB-CASカードは、デジタル放送を視聴いただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに「(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。くわしくは取扱説明書の「miniB-CASカードについて」をご覧ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。

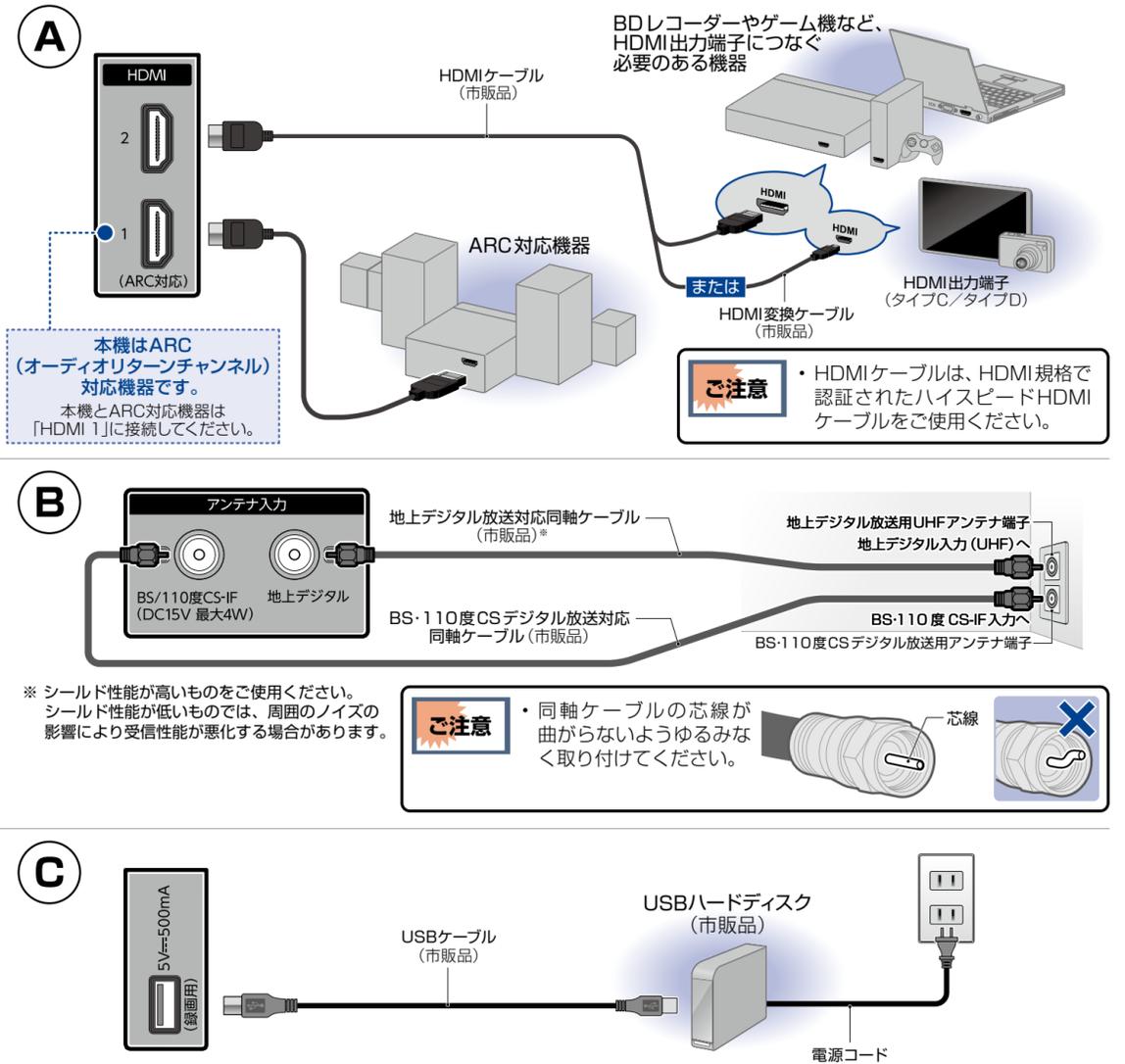
2 アンテナと外部機器をつなぐ

本機でテレビ放送を受信するためにアンテナを接続します。レコーダーなどの外部機器と本機を接続する場合は、外部機器のHDMI出力端子と本機のHDMI入力端子(1~2)をHDMIケーブル(市販品)でつないでください。

ご注意 地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の放送波が1つのアンテナ端子から出力されているときは、UHF / BS・110度CS混合分波器(市販品)が必要です。くわしくは取扱説明書の「アンテナや外部機器をつなぐ」の「A」壁のアンテナ端子が1つで、地上デジタル放送のみを視聴する場合または「B」壁のアンテナ端子が1つで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を視聴する場合をお読みください。



本紙の接続図は、接続方法の一例です。



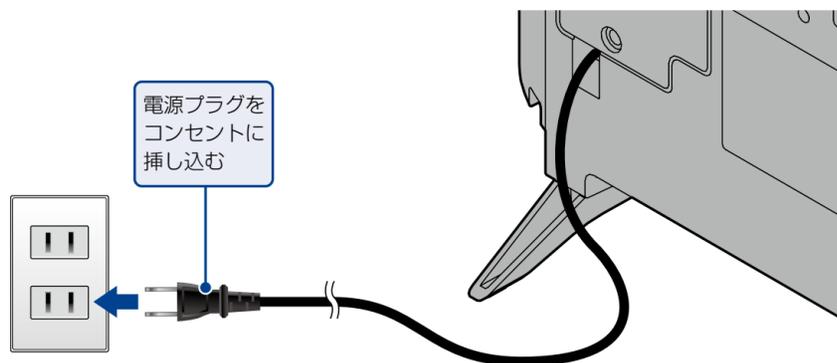
本機はARC(オーディオリターンチャンネル)対応機器です。本機とARC対応機器は「HDMI 1」に接続してください。

ご注意 HDMIケーブルは、HDMI規格で認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。

ご注意 同軸ケーブルの芯線が曲がらないようゆるみなく取り付けてください。

3 電源プラグを挿し込む

アンテナやHDMIケーブルなどの接続が完了していることを確認し、電源プラグをコンセントに挿し込んでください。



4 かんたん一括設定をおこなう

本機の電源を初めてオンにすると、テレビ画面に「かんたん一括設定」が表示されます。画面の指示に従って、設定をおこなってください。



- 「かんたん一括設定」終了後、続けてネットワーク設定や、その他設定をおこなうこともできます。「かんたん一括設定」について、くわしくは取扱説明書をお読みください。

取扱説明書を読んでも使いかたがわからないときや、困ったときは...

まずは、お買い上げの販売店へお問い合わせいただくか、船井電機 製品情報サイトの「サポート」ページ funai.jp/cs/ をご覧ください。製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。

- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

船井電機 お客様ご相談窓口

0120-055-271 (通話料 無料)

受付時間 9:00~18:00

(年末年始を除く)

※時間帯によっては、お電話が混み合っつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。

※FAXをご利用の方はこちらまで FAX: 06-6746-3374

